

3回目のワクチン接種がスタート。 接種可能時期を早めます



市は、新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種を、2月から開始します。国の方針により、2回目の接種を受けてから3回目を受けられるようになるまでの期間が短くなります。今月号では、3回目の接種可能時期などについてお知らせします。問い合わせは、高崎市コロナワクチン問合せ電話（☎395-7300）へ。

市は、新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種を2月から開始します。3回目の接種が受けられるのは、原則として、2回目の接種日から8か月経過してからです。今回、国の方針により、3回目の接種可能時期が早まります。早まる期間は、年齢や2回目の接種日によって異なります。

65歳以上の人
2月に受ける場合は、前回の接種日から7か月経過していれば、3回目を接種できます。3月以降は、6か月経過していれば受けられます。

64歳以下の人
2月に受ける場合は、前回の接種日から8か月経過していれば、3回目を接種できます。3月以降は、7か月経過していれば受けられます。

3回目の予約は接種券に同封の通知で確認を
3回目の接種券は、2回目の接種日から6か月後を目安に発送します。接種を希望する人は、接種券に同封されている通知を確認し、予約してください。3回目も、医療機関で行う個別接種と、市内8か所で行う集団接種を実施します。

一人一人の感染予防を改めてお願いします
新型コロナウイルスの感染者が市内で急激に増えていきます。感染力の強い新たな変異株による感染が増加。感染拡大を防ぐため、マスクの着用や手指消毒など、一人一人の感染予防の徹底をお願いします。

3回目の接種が可能になる条件

年齢	2月に受ける場合	3月以降に受ける場合
65歳以上	2回目の接種日から7か月経過している	2回目の接種日から6か月経過している
64歳以下	2回目の接種日から8か月経過している	2回目の接種日から7か月経過している

3回目の接種についてのQ&A

Q. 1・2回目と異なる種類のワクチンで接種を受けられるの？

A. 3回目の接種では、ファイザー社製とモデルナ社製の2種類のワクチンを使います。前回接種したワクチンの種類にかかわらず、どちらのワクチンでも接種を受けられます

Q. 副反応などについて相談できる窓口はありますか？

A. ワクチン接種後の副反応や、副反応による医療機関の受診など専門的な相談は、県の相談窓口・ぐんまコロナワクチンダイヤル（24時間 ☎0570-783-910）へ。20か国語に対応します。聴覚に障害のある人は、ファクス（☎027-223-7872）などでも相談できます

Q. ワクチンの種類で効果などは違うの？

A. 1・2回目の接種と比べ、ファイザー社製は同じ量を、モデルナ社製は半分の量を接種します。いずれも感染や重症化を予防する効果が期待できます。効果や安全性などは、厚生労働省のホームページで確認できます



接種の予約は電話かインターネットで

ワクチン接種の予約電話へ
☎0120-08-5670
月～金曜日、午前9時～午後6時

3回目の接種を希望する人は、接種券が届いたら電話かインターネットで予約してください。使用するワクチンは、ファイザー社製とモデルナ社製の2種類。医療機関や曜日によって使うワクチンが異なります。予約のときによく確認してください。

本市に転入した人が接種する場合は申請が必要です

本市に転入した人で、ワクチン接種を希望する場合は、市に申請が必要です。接種回数によって、申請書や申請方法が異なります。詳しくは、市ホームページで確認してください。

専用ホームページへ
インターネット
◀予約専用ホームページ ▶予約の手順が動画で見られます

若手アーティスト5人がデザイン

オリジナルのマスクを市内の学校に配布します

市は、市内の小中学生や高校生、大学生など約5万5,000人に、オリジナルデザインのマスクを配布します。マスクはポリエステル製で、創作活動の拠点「榛名湖アーティスト・レジデンス」を利用する若手アーティスト5人がデザイン。カラフルな模様や繊細な絵などが描かれた、全7種類です。

これは、新型コロナウイルスの感染者が増加していることから、若い世代に改めて感染予防を呼びかけるものです。2月上旬から各学校を通じて、オリジナル



デザインのマスク1枚と不織布マスク5枚をセットにして配布します。不織布マスクを重ねて、絵柄を楽しみながら身につけてください。

問い合わせは、保健医療総務課（☎381-6111）へ。

